

# 第39回

## ヨーロッパ・キリスト者の集い

### 参画教会

スイス日本語福音キリスト教会、南ロンドン日本語キリスト教会、フランクフルト日本語福音キリスト教会



今年のヨーロッパ・キリスト者の集いのテーマは「キリストにある自由」です。日常、様々な恐れにさらされ、新たに戦争さえも現実のものとなっている今、私たち信仰者に与えられている自由とは何でしょうか。

キリスト者として十分にこの与えられた自由をもっとよく知り、その喜びに与りたい。今年の集いは、そんな期待を持ちつつ、自由を求めて160名を超える参加者が集います。

若い世代も育ち、大きくは次世代の継承も課題として考えながら、今年も子どもやティーンズ、ユースの若い世代の方々も、子どもから大人まで、ご夫婦、ご家族、みなで一緒に主の御前に集い、みことばから教えられ、みなでこのすばらしいキリスト者としての恵みに存分に与っていきたくと願っています。実行委員会一同



### テーマ

#### キリストにある自由

兄弟たち。あなたがたは自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕え合いなさい。  
ガラテヤ人への手紙 5章13節

人々はこれまで例を見ない様々な“自由”を失ってきた2年でした。このような時代にあって”キリストにある自由”とは、一体何であるのか、共に学び、考え、みことばに耳と心を傾けていきたいと思えます。



### 実行委員

南ロンドン日本語キリスト教会  
清水勝俊  
フランクフルト日本語福音キリスト教会  
カウプ・ナタナエル  
藤原誠  
スイス日本語福音キリスト教会  
今村泰典  
トムセン・チャーリー  
松林幸二郎

ヨーロッパ・キリスト者の集い オフィシャル・ホームページ <https://www.europetsudoj.net/>  
専用メールアドレス 2022tsudoj@gmail.com

会場への行き方+会場に着いたら



車でお越しのかた



宿泊施設には駐車場が沢山ございます。タクシーでもお越しになれます。  
所在地：Willy-Schenk-Straße 9, Rehnenhof, 73527 Schwäbisch Gmünd, Germany

電車でお越しのかた



Schwäbisch Gmünd Bahnhof駅からLine 6でRehnenhof行きのバスに乗ります。バスは平日は、午前8時から午後8時までは30分おきに、時間帯によっては、20分おきに出ています。Rehnenhof Karlsbader Straßeで下車しますと宿泊施設が前にあります。バスの乗車時間は15-20分程度です。バスの時刻表は集いHPのシュトゥットガルト特設サイトQ&Aをご参照ください。お買い得のドイツ国鉄9€チケットをお勧めします。(ICE以外はなんと乗り放題!) チケットはこちらで購入できます。<https://www.bahn.com/en/offers/regional/9-euro-ticket-en>  
また、ドイツ国鉄では、現在も乗車時にマスク(医療用又はFFP2)の着用が義務づけられていますのでご注意ください。



会場に着いたら

フォーラムと呼ばれる緑の建物をお探してください。フォーラムの右隣にはお城のように美しいゲストハウス、左隣にはセミナーハウスがございます。フォーラムに入りましたら、集いの受付がございます。

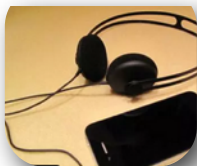
お部屋の鍵、しおりや名札をお受け取りください。14時から受付がはじまります。懐かしい顔、顔、顔。いよいよ、この一年、楽しみにしていた第39回ヨーロッパ・キリスト者の集いのスタートです。



通訳について

今回は賜物を持つ通訳者に恵まれ、早天祈祷会を除き、各講演／賛美の夕はドイツ語に通訳されます。

安全なSNSアプリのSignalを各自スマホにインストールしていただき、グループチャットを利用して通訳が行われます。なお、各自外部からの音の入らないヘッドホンをご用意ください。



代表者会議

代表者会議は8月5日（金）の13時半から15時まで開かれます。会議はフランクフルト日本語福音キリスト教会から議長ならびに書記のご奉仕をいただきます。

各教会／集会から、それぞれ2名まで参加いただけますが、議決権は一人に限ります。

集合記念写真

8月6日（土）の昼食前の11時45分に撮影の予定です！分科会等が終わりましたら速やかに指定場所にお集まりください！



感染対策について

コロナ対策委員会からのお知らせ  
今年もキリスト者の集いを開催できることを感謝致します。

第二信に記載されていたとおり、コロナ対策委員会では、以下の対策を皆さまにお願いしたく思っています。

●コロナ検査  
家を出る前に、コロナ検査を行い（セルフ、抗原、PCRなど）、陰性であること確認してから会場にお越しただけると幸いです。体調が優れなかったり、風邪の症状のある方は参加は御遠慮下さいますようお願いいたします。

●マスクの着用  
集会やピュッフェ周りを中心に、人の集まるところではマスク着用をお願いします。

●体調がすぐれない時  
専用メールアドレス [tsudoj.covid@gmail.com](mailto:tsudoj.covid@gmail.com)にご連絡頂くか、実行委員にお知らせください。検査キットの手配など、できる限りの対応をさせていただきます。

集団感染が起きることなく、みんなが笑顔で帰宅できるように、どうぞご協力の程、よろしくお願い致します。



ユース（20-30代）の方々へ

今年はユースも本大会に参加していただくことになっています。ワークショップ、メッセージ、スモールグループ、分科会、運動会、いつもの証会、キャンプファイヤー、みんなで盛り上げていきたいと思います。

聖書と筆記用具、運動靴、泳ぎたければプールも使えますので水着をお持ちください！



第39回の集いの最新情報はオフィシャルHPのシュトットガルト特設サイトでいつでもご覧いただけます。

特設サイトには、参加教会／集会の紹介、講演概要、各種インフォの英語版、会場へのバスのタイムテーブル、Q&Aなどの最新情報をご覧いただけます。

<https://www.europetsudoj.net/%E7%AC%AC%EF%BC%93%EF%BC%99%E5%9B%9E-stuttgart-%E7%89%B9%E8%A8%AD%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%83%88/>

今回の集いへの参加教会／集会を、こちらで知ることができます。

参加教会／集会

講演／メッセージの概要はこちらでもご覧いただけます。

説教概要

プログラムならびに概要の英訳はこちらでどうぞ！

English/Summary



会場には、ミネラルウォーターが4、5、6日と用意されていますのでご自由にお取りください。



## C S

子どもプログラムのテーマは『愛を行う』です。

本大会のテーマを子どもたちと、ヨハネ13:34b「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」というイエス様のことばを実行しながら学びます。

「大好きな人を愛することは簡単だけど、そうでない人にも？もし自分がやりたくないことが愛を行うこと（神様のことばに従う）だったら？そんな時もあるよね。どうしようか？」

まずは、ヨナのお話から始めます。神様の深くて広い愛を子どもたちと一緒に学びながら、たくさん賛美して、たくさん遊びます。おやつ作りやゲームや工作もします。



## 中高生のみなさんへ

もうちょっとで集いです！「自由」とはなんだろう？そして、「キリストにある自由」とはどう言うことだろう？

聖書を使ってみんなで考えていきたいです。楽しいゲームや運動会も準備してあります。

施設にはバスケットボールコートやプールがあるので運動着と水着を忘れずに持ってきてください。聖書と筆記用具ももちろん持ってきてください。スタッフのみんなで待ってるよ。



## 分科会

分科会は、興味のあるテーマやトピックによって少人数のグループに分かれ、参加者同士で語り合う場です。多くの方が分科会ファシリテーターを引き受けてくださり、合計24の以下の分科会が実現に至りました。ご奉仕して下さる方々に心から感謝します。分科会のアレンジの中で、教会の交わりの豊かさ、幅広さを思わされています。当日どの分科会に参加するか、ぜひ考えてみてください。

### ● 分科会1 (8月5日10:00-11:30)

1. ユース(20-30代)対象プログラム
2. English Group: 英語圏(英語を話す国)における日本人宣教ネットワーク
3. German Group: ドイツ語圏(ドイツ語を話す国)における日本人宣教ネットワーク
4. 音楽家の集い
5. 子育て、家庭、夫婦関係
6. キャリアと信仰、ライフワークバランス
7. 教会奉仕者の集い
8. 帰国者クリスチャンフォローアップミニストリー
9. 日本人特有の文化、外国人として異国で生きる苦勞

と利点

10. 家庭集会(個人宅での聖書勉強会)
11. ノンクリスチャン(求道者)の集い

### ● 分科会2 (8月6日10:00-11:30)

1. 恋愛、結婚
2. これからのヨーロッパキリスト者の集いを考える
3. コロナと社会と教会
4. 福音主義神学について
5. 献身について
6. 賛美について
7. スモールグループの持ち方
8. 教会におけるオンライン活用術
9. 黙想と祈り、テホーション
10. 信仰継承、家庭内伝道
11. German/English Bible Study
12. 日本への留学やインターンシップについて
13. ノンクリスチャン(求道者)の集い





2022年真いの語会礼拝  
 「キリストのしもべ」と呼ばれる自由人  
 副題：真理はある方を自由にする  
 聖書箇所：ヨハネ8:31-32 第1テモテ1:12-17  
 マイヤー・マルチン牧師  
 スイス日本語福音キリスト教会

イエス・キリストは弟子たちに「本当の自由」の約束を与えてくださいました。この約束にはある条件が付いています。聖書の「自由」と言う言葉は、哲学的な意味を悟ることによってではなく、むしろイエスとの出会いによって体験できるものです。何から解放されるか、自由によって人生がどの様になるか、また信仰は、キリストにある自由によってどの様に成長できるかは、パウロの個人的な証を実例にして学びましょう。



8月6日（金）早天祈祷会：  
 神が私たちの味方であるなら」  
 ローマの信徒への手紙8章31～39節  
 川上真咲牧師  
 Japanese Christ's Disciples

私たちの生活に悩みや心配事はつき物です。心配事に目を向けていると、やがてそれは「恐れ」に変わります。恐れている時、私たちはたいてい失敗します。そしてまた恐れが増大します。恐れは私たちと神様を引き離す最も手取り早い方法です。

しかし「恐れるな」と聖書は繰り返し私たちに語り掛けます。死にさえも勝利されたイエス様が私たちの主です。この方によって、私たちはいつどんな時でも「圧倒的な勝利者」なのです。恐れる必要はありません。



8月5日（金）特別講演：  
 次世代のヨーロッパのミニストリーを考える  
 第2テモテ 2章2節から  
 阿部知幸牧師  
 Église Évangélique Libre d'Orléans (フランス)

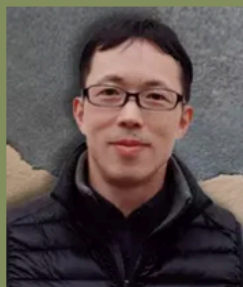
これからの宣教について考えるというのは、どの時代の人たちも向き合ってきた課題と言えるでしょう。では、この2022年、ヨーロッパにおいて日本とつながりのある私たちは、この課題とどう向き合えばいいのでしょうか？聖書はどのようなことを語っているのでしょうか？聖書を読むと、将来の宣教についてのパウロの姿勢や言葉を見ることができます。今回は特にパウロとテモテの関係の中から学べることに目を留め、そこから私たちが何を目指し、何をしていけばいいのかを共に考えていきたいと思います。



8月5日（金）  
 イエス・キリストの自由、十字架を誇る  
 ガラテヤ人への手紙5章1節  
 内村伸之牧師  
 ミラノ賛美教会

ガラテヤ人への手紙のテーマを一言で言い表すならば「キリスト・イエスにある自由」です。  
 パウロはこの大切な手紙を、抑え難いような「激しい思い」をもって書いています。私たちは、神の恵みによって「キリストを信じる信仰」によって生かされています。ですが、その自由を奪い取るような要素が、教会の中に、私たち個人の信仰の中にも密かに忍び込んでくる場合があります。

ですから私たちは、この自由を守るべく、しっかりと心を見張っていなければいけません。パウロがこの手紙を通して真っ向から戦い、そして伝えようとしている福音の神髄を共に受け取りましょう。



8月6日(土) 早天祈禱会  
イエス様の模範に習う者  
増谷啓伝道師  
オランダ南日本語教会

裏切り者のユダ、そして一番弟子ペテロの足を洗ったイエス様の思いと  
行いから教えられ、"イエス様の模範に習う者"へと変えられたいと思  
います。



8月6日(土) 賛美の夕べ  
ショートメッセージ  
清水勝俊牧師  
南口ンドン日本語キリスト教会

私たち信仰者に与えられている自由とは何でしょうか。それは救い主イ  
エス・キリストによる罪からの解放による自由であり、とりわけ永遠の  
希望を持つ者として、何者にも、何事にも揺るがされることのないたま  
しいからの喜びに神をほめたたえて生きる自由ではないでしょうか。ま  
た、それは同時にあらゆる責任も委ねられた中、社会も個人も与えれ  
た自由を神の御前にふさわしく行使しつつ、主をお証していく生きるこ  
とではないでしょうか。与えられた自由を喜びつつ、どこまでも主をお証ししながら、みなで主を  
ほめたたえるひとときを持ちましょう。



8月7日(日) 早天祈禱会  
キリスト者の自由  
第1コリント人への手紙 8章1-13節  
ナイツェル・マルクス牧師  
マンハイム日本語福音キリスト教会

主イエスによって救われ、自由になったクリスチャンは  
与えられた自由で他人につまずきを与えないよう  
な心構えを教えたパウロの経験です。  
人によって心が狭いか広い心かということで  
注意すべきなあゆみかたについて考えさせられます



8月7日(日) 日曜礼拝  
正しい自由の使い方  
ガラテヤの信徒への手紙5章1節、13-15節  
佐々木良子牧師  
ケルン・ボン日本語キリスト教会

この聖書箇所では、信仰者の目標・基準、進むべき指針が与えられま  
す。人が罪から救われるのは、イエス様の十字架が私のためと信じるの  
みです。しかし、当時ガラテヤの教会には「信じるだけで救われる」こ  
との故に信仰の上にあぐらをかき、神に感謝もせず、次の新しい生き方  
へと繋がらない、自分勝手な危険な自由の捉え方をしていた人々がいました。そこでこの手紙の著  
者であるパウロが、「隣人を自分のように愛しなさい」(15節)と正しい自由の使い方を教えてい  
ます。ここで語られている「自由」について、そして「自由の使い方」をご一緒に学んで参りま  
しょう。